翔 SYOU

TAKE FREE

1

2023 No.606

独立行政法人地域医療機能推進機構　人吉医療センター 広報誌

■今月のPICKUP

ごあいさつ

独立行政法人地域医療機能推進機構
人吉医療センター　院長　木村　正美

■REPORT

DMAT災害訓練支援

サイコロジカル・リカバリースキル、ご存じですか？

JCHO新人研修会に参加してきました

特別臨床実習　-地域医療-

性教育（思春期）講演会 in 芦北高等学校

看護師就職説明会に参加して

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院・日本医療機能評価機構認定病院

理　念　140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

- **患者中心の医療**
  患者の人権と意思を尊重します
- **診療３本柱**
  がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります
- **完結型医療**
  地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います
- **地域包括ケア**
  地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します
- **社会貢献**
  災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います
- **医療人育成**
  地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

臨床研修理念　医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的役割を認識しつつ、臨床に必要な基本的診療能力を習得し、全人医療を提供できる医師を目指します。

臨床研修の基本方針

1.人間性豊かな医療人の育成
2.医療全般にわたる広い視野と高い見識を持つ医療人の育成
3.患者の立場に立った医療を実践する医療人の育成
4.チーム医療のできる医療人の育成
5.生涯学習をする医療人の育成
6.地域医療に貢献する医療人の育成
7.公的中核病院としての責務を自覚する医療人の育成

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

早いもので COVID-19（新型コロナ）感染症パンデミックから４年目になります。新型コロナウイルスの感染者は急増していますが感染当初のように重症化率は高くなく、人工呼吸器や ECMO を使用する患者さんはめったにいません。そして社会生活もコロナ前の日常に近い状況で街も賑わっています。一方、令和２年７月豪雨災害から３年目を迎えますが、人吉の街はホテルや店舗が徐々に再開しているとはいえ中心市街地は空き地が目立ち未だ復興とは程遠い状態です。この機会に夢のある魅力的な「人吉のまち」ができることを期待しています。

さて今年は第７次医療計画（２０１８―２０２３）の最後の年となり第８次医療計画が策定されます。これまでの５疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞などの心血管疾患、糖尿病、精神疾患）、５事業（救急医療、災害医療、周産期医療、小児医療、へき地医療）に加えて新興感染症に対する医療提供体制が加わり６事業と在宅医療とになります。当院は、精神科を除くほとんどの領域で地域の中心的役割を担ってきましたが、今後も変わらず役割を果たしたいと思います。とは言え日本の地方ではどこも高齢化、人口減少が進み自治体の存続さえ危ぶまれるところもあります。人吉球磨も例外ではなく、かつて 10 万人を超えていた圏域内の人口もすでに８万人となり 2045 年には５万人と予測されています。医療をみてもすでに入院、外来需要はピークを過ぎ在宅医療の需給のみが今しばらく増えると予測されています。そして今後は医師看護師をはじめとする医療従事者のニーズが都会で高まり当地域でのマンパワーの確保が困難となります。さらに医師の働き方改革に伴う対応も必要となり地域全体で人材確保を考える必要があると考えます。

安心して暮らせる地域となるためには医療、福祉、介護の充実は不可欠でその継続の鍵となるのは医療や介護機関の連携と役割（機能）分担です。要介護となっても最期まで住み慣れた地域で暮らせるために住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアの構築のために当院は高度急性期、急性期、回復期、慢性期とある診療の役割のうち、緊急性の高い高度急性期、急性期を受け持ち、従来通り予防、がん、救急を中心に他の医療機関と連携して役割を果たしていきます。施設間で競争・競合するのではなく互いに協力して各施設が全体として共生することが地域にとっては大切だと考えます。

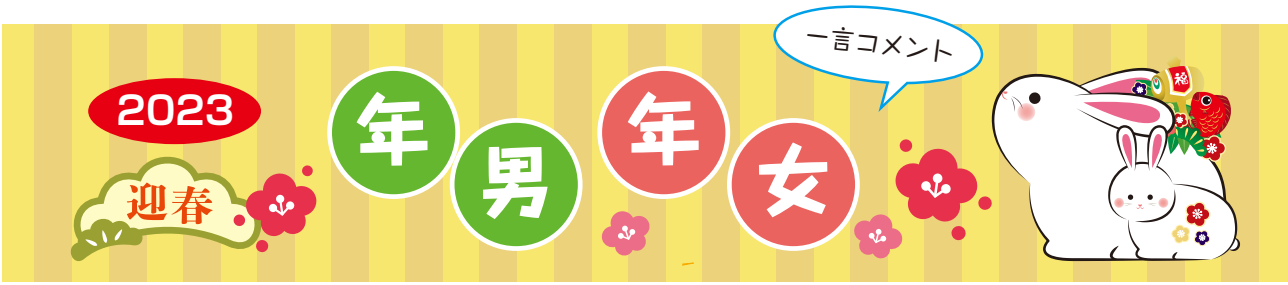
今年の干支は「葵卯（みずのとう）」でこれまでの努力が花開き実り始めると言われ縁起が良いとされています。コロナ、水害で我慢を強いられた３年間から飛躍・向上の年になることを期待します。

また今年、当院は 1878 年（明治 11 年）西南戦争の翌年に地域住民の寄付によって開院されてから 145 年となります（初代病院長西道庵先生）。これまで、戦争、災害、感染症等の苦境もその時々で必要であった医療を提供して地域住民の暮らしを守ってきました。当院は急性期病院として主に「病気を治す医療」を行ってきましたが、最近は 75 歳以上の高齢患者さんが多いため「寄り添う医療」も必要な場合が多く全人的なケアを心がけています。

そして地域の皆さま方に「選んでいただける地域密着型病院」を目指しています。今年も地域医療支援病院、地域癌診療連携拠点病院、感染症指定病院、研修指定病院、災害拠点病院、DMAT 指定病院として公立多良木病院、郡市医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政、大学等と協力して地域医療を守っていこうと思いますので皆さま方のご理解とご協力をお願いします。

令和５年　元旦

独立行政法人地域医療機能推進機構　人吉医療センター　院長　木村正美



手錢　寛子	健康第一で元気に過ごしたいです。去年、部署異動になりできることをもっと増やせるよう勉強も頑張ります！！！
森岡　佐也佳	何事にも一生懸命に頑張ります。
宮原　ひろみ	仕事に子育て頑張ります。
上野　光志郎	健康第一に笑顔で頑張ります！！
浜田　廉	新型コロナウイルスなど何かといやなことが続いていますが、きついことは続かない、必ずこの先良いことがあると信じて今年も頑張っていきたいと思います。
平生　尚子	何事も卯(う)まくいく2023年であります様に
井上　稜大	亀と仲良く肩を並べてのんびり歩けるうさぎもいいなと思います
牟田　大助	幸せな１年になるよう、作業は慎重に行う。
吉田　朋子	健康体力維持を目指します
飯塚　伸一郎	兎走烏飛といわれているので、日々を大切に過ごします。
青木　ルリ子	コロナに負けず頑張ります
鬼木　和子	家族みんなが笑顔ですごせるよう、健康第一で頑張ります。
城本　真由美	仕事・家庭・健康第一に頑張ります
山田　一裕	笑顔で過ごせるように楽しく頑張ります。
福屋　さゆり	健康にも気をつけながら仕事も頑張ります
入来田　美月	飛躍の1年になるように何事にも頑張ります！
野村　はるか	笑顔で過ごせるよう頑張ります。

吉永　晴香	日々成長できるよう頑張ります。
丸山　愛子	明るく元気に頑張ります。今年もよろしくお願いします。
橘　優衣	５回目のうさぎ年ですが、いつまでもかわいく頑張ります。
内嶌　睦幸	飛躍した一年になるよう頑張ります。
森田　秀祐	令和５年は、健康に気をつけて、仕事はきっちりと、遊びはさらに楽しく過ごせるよう、日々精進したいと思います。
西　美子	今年も元気で仕事ができることに感謝しながら過ごしたいと思います。宜しくお願いします。
平山　由香	地に足をつけて頑張ります。
石田　愛恵	年女の娘に負けないように成長できる一年にしたいです。
里田　亜矢子	明けましておめでとうございます。今年は還暦、３月で定年となり新しい生活が始まる年となります。まだまだ兎のように飛躍したいと思います。
佐藤　亮平	今年はカンパチ 100kg オーバー釣ります！！
中村　沙耶	藤健康第一で元気に過ごしたいです。去年、部署異動になりできることをもっと増やせるよう勉強も頑張ります！！！
大山　大輝	コロナに負けないように頑張ります
長野　裕華	笑顔で楽しく仕事ができるように頑張ります。
神田　尚美	飛躍できる年になれるよう､今年も頑張ります。

就職説明会に参加しました！

12月27日（火）熊本城ホールで開催されたマイナビ看護学生就職セミナーに参加しました。24病院が出展し204名の学生が来場する中、当院には53名の参加がありました。

きつねダンスの動画を作成し楽しい雰囲気作りを心掛け、当院のパンフレットに基づき、病院周辺の環境、看護部の理念、教育体制、福利厚生などを説明しました。特に教育環境についてはうなずきながら視聴する学生の反応があり、新人看護師1人に実地指導者1人が担当し、看護技術だけでなく精神的にも支援し、みんなで育てる組織文化に努めている当院の特徴を強調しました。

学生からは「職場の雰囲気はどうか」「寮の広さはどのくらいか」「災害看護に興味がある」など積極的な質問や意見がありました。

また「人吉に行ったことがない」という言葉があり、当院の広報を積極的に行っていく必要性を感じました。

今回の学生との接点を通し「今の学生」の価値観や考え方、斬新な意見を参考にして、今後も就職説明会に参加し、医療界や当地域を共に支える新人看護師の獲得に向けて活動していきたいと考えています。

8階病棟　看護師長　前田　恵美

当院看護部パンフレット

レポート　DMAT 災害訓練支援　「防災学習の日」in 球磨村

2022 年 12 月 4 日球磨村内及び球磨中学校において「防災学習の日」として球磨村の住民を対象に震度 6 弱を想定しての災害訓練、小中学生を対象に防災学習が行われました。

災害訓練には自衛隊、警察、消防、防災教室には富士通ゼネラル、熊本トヨタ、当院ＤＭＡＴ（今回は下川医師、尾方看護師、小栗看護師、業務調整員として那須理学療法士、筆者）が訓練支援機関として参加しました。

球磨村の訓練には毎年参加しておりますが、今回は防災学習メインでしたので、私自身もいつもよりも少し緊張をしていました。事前の準備段階では簡単な言葉で、わかりやすく説明を行うことを心掛けよう、と申し合わせて臨みました。しかし私達が想像していたよりも子ども達は楽しみながらＢＬＳの練習や話を聞いてくれる姿を見てホッとしました。締めは熊本県警察音楽隊による慰問演奏もあり素晴らしい音色に心癒されて帰路につきました。

人吉から球磨村へ続く国道からは 2 年半前の豪雨災害の爪痕がまだまだ見てとれ、まだまだ復興は道半ばだということを痛感させられます。これからも地域に貢献できるＤＭＡＴでありたいと思っております。球磨村の皆様どうもありがとうございました。また来年も頑張ります。

画像診断センター　前田　竜一郎

サイコロジカル・リカバリースキル、ご存じですか？

先日、熊本県精神保健福祉センター主催のＳＰＲ（Skills for Psychological Recovery：サイコロジカル・リカバリースキル）研修を受講しました。

大規模災害、事故などの直後に提供できる心理的支援を、ＰＦＡ（サイコロジカル・ファーストエイド）と言いますが、心の応急処置を実施した後の復興回復期、もしくは、より集中的な介入が必要とされる場合に用いることのできる心理的支援法を、ＳＰＲと言います。これは、被災者が苦痛をやわらげ、災害後のストレスや、さまざまな困難にうまく対処するためのスキル（具体的には、困っていることを整理したり、身体症状を和らげたりするための対処方法など）を身につけられるよう構成されています。これらのスキルを獲得し、支援に繋げるための関りについて、グループワークを通して学びました。

回復の過程は、一人ひとり違うものですが、その人なりの回復のプロセスに寄り添いながら、内なる回復力を引きだして支えるという姿勢がベースになければ、いくらスキルや情報を提供しても、「害を与える行為」になりかねません。

当地域は、2020 年 7 月の豪雨災害を経て、少しずつ復興が進みつつあります。しかし、生活再建が上手くいき回復が促進される人と、様々な面で回復が思うように進まず取り残される人と、その格差が徐々に開いていくことがあります（はさみ状格差）。そのため、「回復に向けて歩き出したいけどどうすればいいかわからない」、そのような被災者がいらっしゃいましたら、選択肢や情報提供の一つとして本スキルが役立つ場合があるかもしれません。ご興味がある方は、ぜひお声がけいただけたらと思います。

【兵庫県こころのケアセンターより一部引用】

災害後のこころのケアについてのパンフレット
熊本県精神保健福祉センター作成

災害後のこころのケア
（熊本県）

くまモンと、前へ

公認心理師　鶴田　真奈美

JCHO 新人研修会に参加してきました

今回、2 日間行われた新入職員研修に参加させて頂きました。

入社して初めての同期と顔を合わせ、たくさんコミュニケーションを取ることができました。そして、今回の研修に参加して学んだことは、病院の事務職ではどの部署においてもそれぞれ経営意識を持って、多職種の情報共有が必要だと学びました。

一般企業とは違い多職種の職員がいることで、それぞれの業務、情報を理解し活用することが大切だと思いました。

この研修で学んだことを今後の業務に活かしていきたいと思います。今回参加の機会をいただきありがとうございました。

医事課　森　奈央

特別臨床実習 －地域医療－

3週間、地域医療実習でお世話になりました。病棟や外来では医学的な面において勉強になったのはもちろんですが、DNARやACPを通してどのように人生を送ることが患者さんにとって一番理想的なのか、患者さんの生活背景まで考えるきっかけにもなりましたし、患者さんへの言葉のかけ方について学ぶこともできました。また、患者さんにとって一番良い医療を提供するために医師が日々学び成長し続ける姿勢など、医師の姿勢についても学ぶことができました。ERでは様々な症例を目にすることができ、季節ならではの疾患や人吉の特徴を肌で感じる実習となりました。また、積極的に手技もさせていただくことでとても刺激を受けることができました。訪問診療や五木村診療所の診察では人吉の方の温かさや文化を感じることができ楽しかったです。

院長先生をはじめとして、多くの先生方やスタッフの方にとても親切にしていただくことで、医学も人吉の文化も学ぶことができました。地域医療実習生は私一人でしたが、おかげさまで寂しいと思うこともなく、むしろ実習ロスになるぐらい楽しませていただきました。3週間を通じて人吉・熊本をより好きになり、友達に熊本弁を使って話すほどでした。今回、実習を快く受け入れてくださり、またERなどで声もかけてくださり本当にありがとうございました。

地域医療実習での学びを生かして、素敵な医師になれるようこれから精進して参ります。

熊本大学医学部医学科5年　大木　奏舞

地域医療実習として3週間お世話になりました。自分は実習を通じて、地域医療とは具体的にどのようなものか、大学病院との違いはどのようなことかについて主に学びたいと考えておりました。人吉医療センターには人吉市やその近隣のみならず、宮崎や鹿児島からも患者さんが搬送・来院されており、地域にとって主要な中核病院であると感じました。また、地域のかかりつけの医療機関からの紹介例もあり、また、熊本大学病院や済生会病院、日赤病院への紹介例もあり、どのような症例を診ているのか学ぶことができました。さらに訪問診療・看護や五木村診療所での実習では、地域に密着した“草の根の医療”を実際に学ぶことができました。

また、多くの方が誘ってくださったため、人吉という風土を楽しむことができました。ありがとうございました。また、たくさんの名湯に出会えたことも良い思い出となりました。最後に21日間という長期間の実習が、光陰矢の如し、一瞬で過ぎ去ったと感じるほど、充実した実習を行うことができました。それはひとえに院長先生をはじめ、指導してくださった先生方や、研修医の先生方、そしてなにより実習に協力していただいた患者さん方のおかげです。本当にありがとうございました。風光明媚な人吉の、人情あふれる人吉医療センターで学ばせていただいたことを大切に勉学にいそしみますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。そして今後も人吉にご縁があることを願っております。

熊本大学医学部医学科5年　鶴　尚久

性教育（思春期）講演会 in 芦北高等学校

産婦人科
片渕 先生

2022年12月21日（水）芦北高等学校にて片渕秀隆先生による講演会が開催されました。

当初予定では、全校生徒約230名を対象に体育館で講演予定でありましたが、県内の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、校内総合学習室において3年生約85名の生徒さんに直接講演を行い、1～2年生は各教室においてモニター視聴をしていただき感染予防対策に考慮しながらの開催でした。

「人として生まれ　芦北で生きている　奇蹟を考えてください」をタイトルに、①産婦人科　②子宮　③妊娠　④がん　この4つのキーワードから、生誕の奇蹟、命の大切さ、性と婦人科の病における知識について、生徒さんと笑いありの意見を交えながら、とても興味深く、そして貴重なお話をいただきました。

講演を聞いた生徒さんからたくさんの感想をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

【芦北高校生徒感想（一部抜粋）】

- 子宮頸がんの恐ろしさも知ることができ、お母さんは痛い思いをしながら私達を生んでくれたことに感謝したいです。
- 今回の講演を聞いてみて前までは女子にしか関係の無いことだと思っていたけれど、自分にも関係のあることだなと感じました。なので、これからも女子が困っていたら、しっかりと手助けすることが大切だと感じました。
- 今回の話を聞いて、改めて体や命の大切さを学ばせてもらいました。やはり、男性は女性を大切にして、女性は自分自身を大切に守ってくれる人を探すことだと思いました。

HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンをご存じでしょうか？

片渕先生の講演の中にもありました子宮頸がんなどの感染症を予防するワクチンですが、諸外国の接種率と比べ我が国の接種率はわずか1.9%という極端に低い割合に驚かされました。

ウイルスの感染がきっかけでおこるがんの一つに子宮頸がんがあります。このウイルスは、女性の多くが一生に一度は感染するといわれているウイルスです。感染しても殆どの人ではウイルスが自然に消えますが、一部の人でがんになってしまうことがあります。その発症を予防するためにワクチンがあります。HPVワクチン接種を逃した方でも、2022年4月から2025年3月までの3年間、定期接種としてHPVワクチンを無料で受けられるそうです（キャッチアップ接種）。今一度ご検討されてみてはいかがでしょうか？

シリーズ
在宅医療

在宅での入浴でお困りはありませんか？
地域の訪問入浴サービスの紹介

昨今、在宅医療を選択される方も多い中、患者さんが、自力での入浴が難しかったり、家族のサポートだけでは入浴が困難な場合、また、通所サービスは苦手で利用が困難なども含め、在宅での入浴についてお困りの方も多いかと思います。
そのような場合に訪問入浴サービスという方法があります。ご本人の清潔が保たれ、家族の介護負担を軽くすることもできます。
人吉球磨地域でも訪問入浴を実施している事業所がありますので、ご紹介をさせていただきます。

訪問看護ステーション　3rdHand

目　的：訪問入浴を行う地元事業所が少ない為にデイケア・デイサービスを利用できない方で、入浴することが困難な方を、清拭ではなくしっかりとお風呂に浸かってリラックスして欲しいと思いスタートしました。

内　容：看護師２名で訪問し、ベッド上で寝たまま入れるゴムの浴槽を使い、お風呂場のお湯をポンプで汲み上げ、使用したお湯は排水する仕組みです。

対象者：
- 自力では入浴困難な方。
- 血圧変動などがあり、通所系サービスでの入浴が困難な方。
- 関節拘縮や痛みがあり動くことが困難な方。

※主治医の指示が必要となります。

時　間：１時間～１時間半位。

【介護保険】
１時間の時：1223単位
（Ⅰ3看・複12）1223円

【医療保険】
月の初回訪問時：1749円
２回目以降（１日）：1305円

※利用料金：１割での計算　１時間で入ったときの料金です。

【問い合わせ先】　訪問看護ステーション　3rd Hand
〒868-0008　人吉市中青井町307-6
TEL：0966-32-9930
FAX：0966-32-9932

訪問入浴はればれ

自宅のお風呂で入浴が困難な方やサポートが必要な方のご自宅に看護師１名・介護士２名で訪問入浴車にて出向き、入浴支援を行います。専用の浴槽をご自宅で組み立てるため、２～３畳ほどのスペースがあれば利用でき、お湯も入浴車に備えついているボイラーで沸かし、シャンプーやタオル等もご用意しております。利用者様にご準備頂くものはありません。訪問看護も併設しており、医療依存度の高い方も安心してご利用いただけます。

介護保険だけでなく医療保険・自費と様々なニーズに合わせたサービスを提供しています。

【所要時間】
浴槽の設置から片づけまでで 50 分前後

【1 回あたりの料金】
要支援１・２／852 円
要介護１～５／1260 円
医療保険／1416 円
自　　費／12600 円

【問い合わせ先】　訪問入浴はればれ
〒868-0421　球磨郡あさぎり町上東1934-2
TEL：0966-47-0083
お気軽にご相談ください。

球磨地域在宅医療サポートセンター（人吉医療センター）

行事食　クリスマスディナー と おせち料理

クリスマスディナー

おせち料理

年末年始は賑やかな行事が続きましたね。当院は患者様に少しでもイベント気分を味わっていただけるよう、クリスマスディナーとおせち料理を提供しました。

クリスマスディナーはローストチキン、サラダ、スープ、ケーキのフルコースを１食で提供し、自宅と同じような楽しさを味わっていただけるよう工夫しました。

元旦は、朝食にお雑煮・祝肴・紅白なます、昼食は赤飯をはじめ、伊達巻・紅白かまぼこ・たたきごぼうなどを折に詰め、祝箸を添えて新年の行事を祝いました。患者様からも多くの感謝のお言葉をいただき、私達もやりがいを感じております。

今後も患者様が少しでもお食事を楽しみの一つにしていただけるよう栄養管理室一丸となって頑張っていきたいと思います。

栄養管理室　入木田　美月

新任紹介

土肥　祐衣
（9階病棟・看護師）
趣味：スポーツ観戦
自分の性格：責任感が強く、仕事ではせっかちです。
自分のコマーシャル：人吉での生活は初めてです。戦力になれるようにがんばります。

小林　亜沙夏
（5階病棟・看護師）
趣味：ソフトテニス、スノーボード
モットー：やりきること
好きな言葉：なるようにしかならない
自分の性格：明るい
自分の長所：ポジティブ
自分のコマーシャル：私は自分の素を出し切っていきたいと思っています。素のままの自分を好きになってもらえるよう、コミュニケーション能力を活かしていきたいです。

尾方　理恵
（外来・医療クラーク）
趣味：子ども達と公園めぐり
特技：どこでも寝れる
自分の性格：長所は人と打ち解けやすい所です♪短所は涙もろい所です…(ＴＴ)
自分のコマーシャル:5年前、人吉医療センターの診療情報管理士で働いていました！また人吉に戻り、クラークとして働く事になりましたので、気軽に声を掛けてください！一生懸命ガンバります。

E-mail　URL
発行／独立行政法人地域医療機能推進機構　人吉医療センター　題字／「翔」吉村伯舟　初刊／昭和47年9月　印刷／㈲ソーゴーグラフィックス
TEL0966-22-2191・FAX0966-24-2116　URL　http://hitoyoshi.jcho.go.jp/　E-mail　main@hitoyoshi.jcho.go.jp